



Fleekdrive セキュリティホワイトペーパー

1.6 版

株式会社 Fleekdrive

1 利用者との責任分界点

株式会社 Fleekdrive の役割および責任

株式会社 Fleekdrive は、オンラインストレージサービス Fleekdrive を提供するにあたり、以下の役割および責任を負います。

- お預かりしたデータに対する、漏えい・改ざん・毀損・滅失の防止に務めること
- サービス提供のために当社が設計・開発するソフトウェアのセキュリティを確保すること
- サービス提供のために利用するミドルウェア、OS、インフラのセキュリティを確保すること

お客様の役割および責任

お客様は、Fleekdrive を利用するにあたり、以下の役割および責任を負います。

- ユーザに付与されたパスワードを適切に管理し、漏えいを防止すること
- ユーザに対するアカウントおよびアクセス権の管理を行うこと
- 万が一に備え、サービス内に保管されたデータのバックアップを取得すること

2 データ保管場所

- お客様からお預かりしたデータは、Amazon Web Service の東京リージョン、日本に保管されます。

3 データの削除

- Fleekdrive の利用に関する契約が終了した場合、以下の表に基づき、利用者からお預かりしたデータの消去が行われます。

データの種類	削除のタイミング・手法
氏名、メールアドレスなどのテキスト情報及び お預かりしたファイル	契約終了から 30 日以内に削除対象のテナント情報を 抽出。抽出後、削除内容を確認し更に 30 日以内に完 全削除。

4 装置のセキュリティを保った処分

- Fleekdrive はインフラストラクチャとして Amazon Web Services を利用しています。サーバなどの装置は、Amazon Web Services, Inc. により適切に管理され、不要になった場合は、安全な方法で廃棄が行われています。
- より詳細な情報は、以下からご確認ください。
クラウドセキュリティ | AWS
<https://aws.amazon.com/jp/security/>

5 手順書の提供

- Fleekdrive の仕様や操作手順を記載したマニュアルは、以下の URL よりアクセスすることが可能です。

※閲覧には、Fleekdrive へのログインが必要となります。

○Fleekdrive マニュアル

<https://support.fleekdrive.com/ja/>

○Fleekdrive Salesforce 版マニュアル

<https://support.fleekdrive.com/salesforce/ja/>

6 不正利用の監視

- 組織管理者は、証跡機能にて利用ユーザのログインログアウト、ファイルに対しての操作証跡、権限の追加やアクセス権の変更等の操作証跡を確認することが可能です。
- 監査オプションを契約した場合、監査権限を持つユーザは、以下の操作に対しての監視を行うことが可能です。

ポリシー種別	アクセス権限の範囲
アカウント管理に関するポリシー	以下のアカウント管理に関する操作を実施した際、監査権限を持つユーザへ通知が可能です。 ユーザ追加、ユーザ有効化、ユーザ無効化、ユーザロック、ユーザアンロック、ユーザー一覧 CSV インポート、グループ作成、グループメンバー変更、グループ削除
アクセス権限管理に関するポリシー	以下のアクセス権限管理に関する操作を実施した際、監査権限を持つユーザへ通知が可能です。 システム権限変更（編集）、アクセス権限変更（編集）、ユーザ共有編集
証跡管理に関する監査ポリシー	以下の証跡に記録された操作を実施した際、監査権限を持つユーザへ通知が可能です。 ログイン失敗、アカウントロック、業務時間外アクセス、複数同時ログイン、大量アップロード、巨大ファイルアップロード、指定外ファイルアップロード、大量ダウンロード、ファイル・スペース完全削除
情報セキュリティ管理に関する監査ポリシー	以下の情報セキュリティに関する操作を実施した際、監査権限を持つユーザへ通知が可能です。 ユーザー一覧 CSV エクスポート、グループ情報エクスポート、共有ユーザ抽出、共有スペース抽出

7 暗号化の状況

全般

- Fleekdrive 内に保管されるデータは、以下の表に基づいた暗号化の対象状況となります。

データの種類	削除のタイミング・手法
ID、パスワード	SHA-256 によりハッシュ化して保管
ファイル	AES-256-GCM により暗号化して保管
メタデータ (DB 情報)	個人情報を除き、暗号化対象外。
通信	TLS1.2 以上にて暗号化

また、ユーザの利用端末から Fleekdrive までのインターネット通信は、SSL/TLS1.2 通信によって暗号化されます。

8 変更管理

- サービスのバージョンアップ情報を始めとした、各種の変更に関する情報は、下記のリンク先 Web ページより閲覧することが可能です。

○Fleekdrive リリースノート

https://support.fleekdrive.com/ja/release_note/

○Fleekdrive Salesforce 版リリースノート

https://support.fleekdrive.com/salesforce/ja/release_note/

- また、サービスのバージョンアップが実施された場合、全体通知受信設定をされているユーザへ、メールにて状況をご報告いたします。

全体通知メールを受け取るにはご利用環境に応じた事前設定が必要となります。

設定方法は 7 ページ※1【全体通知受信設定のご確認・設定方法】にてご案内いたします。

9 バックアップの状況

全般

- Fleekdrive 内に保管されるデータは、以下の表に基づき、バックアップが行われます。

データの種類	間隔	保管される世代
入力されたデータ全般	日次	無制限
お預かりしたファイル全般	日次	電子帳簿保存法オプション未契約: 5 年 電子帳簿保存法オプション契約: 10 年

- 全てのバックアップデータは、メインのデータが保管されている拠点から、地理的に離れた拠点に保管されています。また、株式会社 Fleekdrive は定期的にバックアップからの復旧試験を実施しており、これらのバックアップからデータを正常に復旧できることを確認しています。
- 但し、お客様によるバックアップデータの復元等に関する要望は、承っておりません。
- 利用者が保管したファイルのバックアップデータは、5 年間を保管期間とします。但し電子帳簿保存法オプションをご契約いただき、電子帳簿保存法オプションのスペースへ保存されたファイルは最大 10 年間の保管をいたします。

10 ログのクロックに関する情報

- Fleekdrive サービス内で提供されるログは、タイムゾーン JST(UTC+9)で提供されます。
- ログの時間は、AWS が提供する NTP サービスと同期しています。

11 ぜい弱性管理に関する情報

- Fleekdrive 開発チーム及び運用チームは、システムで利用している OS、ミドルウェア等に関する脆弱性情報を、定期的に収集しています。
- システムで利用しているコンポーネントに対する脆弱性パッチが公開された場合は、テスト環境での検証を経た後、速やかに適用されます。

12 開発におけるセキュリティ情報

- Fleekdrive の開発プロセスにおいては、サービスをセキュアに保つために、コードレビュー、セキュリティテスト、外部のぜい弱性診断の受審、開発者に対する定期的なセキュリティ教育などの取り組みを実施しています。

13 インシデント発生時の対応

- お客様に重大な影響を与えるセキュリティインシデント（データの消失、長時間にわたるシステム停止等）が発生した場合は、インシデント発生から 4 時間以内を目標に、以下の対応を実施いたします。

1:サポートサイトへの情報掲載

2:全体通知受信用設定をされているユーザへ、メールにて状況をご報告いたします。

※上記 1、2 の方法によるご報告が困難な場合は、障害報告サイトにて情報を掲載いたします。

【障害報告サイト】

Fleekdrive 障害報告サイト： <https://fleekdrive.tayori.com/q/service-status/>

【全体通知メールの受信設定について】

全体通知メールを受け取るにはご利用環境に応じた事前設定が必要となります。

設定方法は 7 ページ※1【全体通知受信設定のご確認・設定方法】にてご案内いたします。

- 情報セキュリティインシデントに関する問合せは、本セキュリティホワイトペーパー末尾の「Fleekdrive サポートデスク」窓口より受け付けています。

14 証拠の収集

- アクセスログやエラーログなどのログデータを始めとしたデジタル証拠は、当サービスの機能を通してのみお客様に提供されます。利用者からの個別のデジタル証拠の提出要求に関しては、いかなる目的であっても原則応じる事ができませんので、あらかじめご了承ください。
- 但し、裁判所からの証拠提出命令など、法的に認められた形でお客様のデータの提供を要請された場合、株式会社 Fleekdrive は、お客様の許可なく、必要最小限の範囲で、お客様情報を外部に提供する可能性があります。

15 適用法令

- お客様と株式会社 Fleekdrive との間の契約は、日本法に基づいて解釈されるものとします。

16 記録の保護

- Fleekdrive の機能を通して提供されるログは、以下の表に従い保管されます。

ログの種類	保管期間
操作ログ、ログインなどの証跡	5 年間

17 情報セキュリティのレビュー

- 株式会社 Fleekdrive は、定期的に内部監査を実施しています。監査では、独立した立場の監査員によって、当文書を含む社内のポリシーに、当サービスが適合しているかのチェックが実施されており、問題が見つかった場合には、速やかに改善を行っています。監査結果に関する問合せは、本セキュリティホワイトペーパー末尾の「Fleekdrive サポートデスク」より受け付けています。
- 株式会社 Fleekdrive は、情報マネジメントシステム認定センター(ISMS-AC)が運営する、ISMS 適合性評価制度における、ISMS 認証 (<https://isms.jp/1st/ind/>) を取得しています。

- ※1【全体通知受信設定のご確認・設定方法】

以下リンクはサービスにログインした状態でアクセスしてください。

-Fleekdrive をご利用のお客様：

[設定方法] https://support.fleekdrive.com/ja/admin_manual/6192/

-Fleekdrive Salesforce 版をご利用のお客様：

[設定方法] https://support.fleekdrive.com/salesforce/ja/admin_manual/4669/

改訂履歴

版	改訂日	改訂内容
1.0	2022/6/18	初版発行
1.1	2023/5/17	9 バックアップの状況 の保管期限の記載を修正
1.2	2023/6/27	6. 不正利用の監視「アカウント管理に関するポリシー」の記載を修正
1.3	2025/3/27	9 バックアップの状況 の保管期限 不必要な記号の削除
1.3	2025/3/27	3 データの削除 削除のタイミング・手法の記載を修正
1.4	2025/9/5	13.インシデント発生時の対応の記載を修正
1.5	2026/4/1	5.手順書の提供を修正 8.変更管理を修正
1.6	2026/10/19	5.手順書の提供を修正 8.変更管理を修正
1.6	2026/10/19	13.インシデント発生時の対応の記載を修正
1.6	2026/10/19	17. 情報セキュリティのレビューを修正

この資料に関するお問い合わせ

株式会社 Fleekdrive

所在地 〒108-0022

東京都港区海岸 3-9-15 LOOP-X 6F

サポートデスク

TEL:03-6722-5015

Email : support@fleekdrive.comFleekdrive サポートサイト : <https://support.fleekdrive.com/ja/>Fleekdrive Salesforce 版サポートサイト : <https://support.fleekdrive.com/salesforce/ja/>